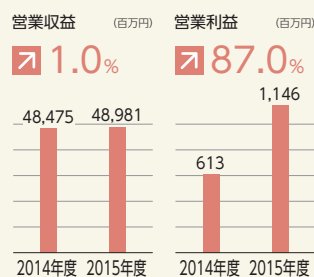


ホームコンビニエンス事業



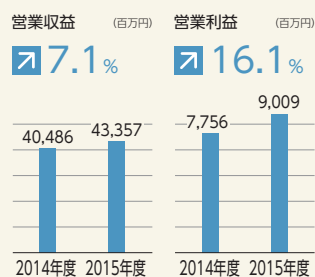
引越・生活サポート・流通サービスを中心とした地域密着型生活支援サービス



e-ビジネス事業



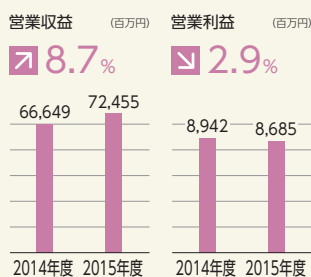
企業向けクラウドサービスや情報システム開発などの情報サービス



フィナンシャル事業



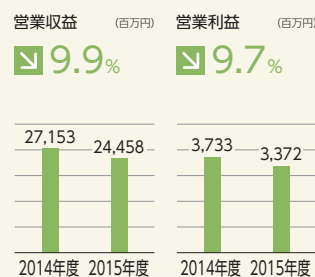
決済などの金融サービス



オートワークス事業



車両整備を中心とした運送事業者向けのトータルサポートサービス



Topics 1

KDDI株式会社様、「FRAPS」とスピード輸送ネットワークを活用した物流センターの運用を開始

KDDI様は、新大型物流拠点「KDDI東日本物流センター」内に、ヤマトグループの「FRAPS」を導入。ヤマトグループのノウハウとスピード輸送ネットワークを連携させ、同一店舗（auショップ）向けの注文を集約して一括納品することで、各店舗の業務負担の軽減、納品までのリードタイムの短縮、物流コストの削減を実現しています。今後もお客様に商品をいち早くお届けすることに加えて、より付加価値の高いサービスの提供を目指していきます。

※FRAPS (Free Rack Auto Pick System) は、ヤマトグループの「パリュウ・ネットワーク」構想の具現化に向けて開発されたシステムのひとつです。ピッキングなど入庫から出庫までのフローを短縮するとともに、同一配送先の複数の注文を集約して一括同梱できます。



ピッキングシステム「FRAPS」



「KDDI東日本物流センター」

Topics 2

ヤマト運輸がモーダルシフト最優良事業者賞を受賞

ヤマトグループは、「ネコロジー」を合言葉に事業活動の環境負荷低減を推進しており、特にCO₂削減に向けて、幹線輸送に鉄道などを利用するモーダルシフトに全社で取り組んでいます。2015年11月18日には、ヤマト運輸の九州発関東行き荷物のモーダルシフト拡大の取り組みが評価され、一般社団法人日本物流団体連合会主催「第13回 モーダルシフト取り組み優良事業者公表・表彰制度」の「モーダルシフト最優良事業者賞（大賞）」を受賞しました。今後もモーダルシフトをはじめとして、「ネコロジー」の取り組みを推進していきます。

※モーダルシフトとは、幹線輸送をトラックなどから、より環境負荷の少ない鉄道輸送などへ転換し、CO₂排出量の削減や物流の効率化を目指す取り組みのことです。



右から、日本物流団体連合会 会長 工藤 泰三氏、ヤマト運輸 常務執行役員 臼井 祐一